



## 殺菌灯搭載ロボットの紹介

感染対策室

主事 松永 敏幸

昨年12月、県内の病院では初めて「殺菌灯搭載ロボット SRUVC」を導入しました。このロボットはAI（人工知能）で院内を自律走行し、紫外線を照射して新型コロナウイルス等を殺菌してくれるものです。

主にコロナ患者さんが入院されていた病室の清掃に利用中で、これまで看護師をはじめとした職員が手作業で除菌をしていたものを自動で殺菌作業してくれ、職員の感染リスクが減りました。また、除菌作業をする人数の削減や作業時間の短縮にもなり、職員の負担軽減にも貢献しています。ロボットが照射する紫外線は床や壁、天井等の広範囲に届くので、人の手では十分な除菌ができない場所や拭き残しが起きやすい場所も殺菌してくれます。これにより、入院される患者さんにより清潔な療養環境を提供することができます。

操作はタブレットで簡単に行うことができ、ロボットが動ける場所なら室内どこでも移動させることができます。センサーにより、障害物を感知したり人影を認識して自動で停止したりもできます。作業終了後には自動で元の位置に戻ります。また、新型コロナウイルスだけでなく、MRSA、



(高さ168cm、幅40cm、奥行き50cm)

緑膿菌、結核菌等の他のウイルスや細菌にも対応し、殺菌する場所の広さに合わせて照射時間を調整して殺菌できます。

なお、とても高価なものですので、大切に利用していくため院内で操作ができる職員を育成し、ロボット活用も含めて安全な診療体制の確保に努めていきます。

引き続き院内ではマスク着用をお願いします。

